

学校の教育目標

人権尊重の教育を基盤とし、豊かな心とたくましく生きる力をもち、生涯にわたって、学び続ける意欲と態度をもった児童を育成する。

- ◎ **かんがえる子ども**（自分の考えをもち、進んで実行する子）
- ・ **やさしい子ども**（個性を伸ばし、心の豊かな子）
- ・ **たくましい子ども**（命を大事にし、丈夫な体をつくる子）

教育活動のいろいろ



○児童一人ひとりを大切に、児童がもっている個性・能力の伸長を図る。児童・教師・保護者相互の信頼関係を築き、その上に立って日々の教育活動を推進するとともに、社会の変化に主体的に対応して生きる児童の育成を図る。

【めざす学校のすかた】

・ **知徳体のバランスが取れ、一人ひとりの子どもが自らの力を発揮できる学校**

- ・心身ともに健康で知性と感性に富み、自分も人も大切にする豊かな人間性を持ち、時代と社会の変化に主体的に対応してたくましく生きる児童を、保護者・地域と連携して育てる。

分かりやすい勉強のために

- ・児童一人ひとりを大切に、基礎的・基本的な知識・技能の定着とその活用を図るために思考力、判断力、表現力を育む。
- ・一人ひとりの児童に自ら考え判断し行動する態度と能力を身に付けさせ、保護者と連携を図りながら家庭学習の充実を進め児童の生きる力を育む。さらに、今までの実践を生かしながら体力向上に取り組む。
- ・校内研究では、算数科に取り組む。テーマ「自分の考えをもち 学び合う 算数学習 一集団検討の場を通して」と設定して、児童の実体把握を行い、一人ひとりの学力の向上を目指す。年6回の授業研究を行う。
- ・「ぐんぐんタイム」として金曜日の6校時を活用して低学年に、火・木・金の放課後を活用して6年生に、夏季休業中の5日間では全学年で補充的な学習を行い基礎基本の定着を図る。

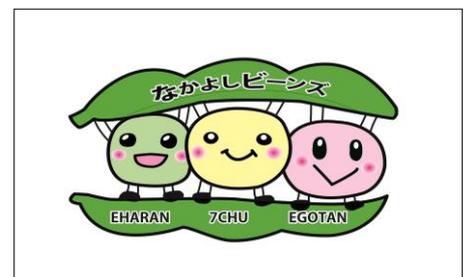
豊かな心を育てるために

- ・全校読書タイムを金曜日の朝の時間に位置づけ、読書の時間を共有し、豊かな情緒を育む。
- ・自他の理解を深めるとともに、生命の重さ・大切さに気付かせ、生きることのすばらしさを実感させる。偏見や差別をなくして思いやりの心をはぐくみ、人権尊重の精神に基づいた規範意識を育てる。また、保育園や幼稚園、大学生・留学生等、異校種間と連携を図りながら情報交換を密にし、いじめ防止、小1プロブレムなどの問題解決に向け、指導の充実に努める。
- ・コミュニケーション能力の向上、学習活動の充実を図るためにICTを活用し指導過程の改善を図る。
- ・一人ひとりの児童の実態を全職員で共感的に受容し児童理解を深め、教育相談的支援の充実を図る。また、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内組織と巡回相談員を活用した個別指導計画の充実を図る。

小中連携教育を推進するために

- ・江原小、七中と連携を密に取り、それぞれの学校の特色を生かした小中連携教育の推進を行う。九年間の見通しをもった学びの計画を作成する。中学校へのスムーズな移行を具体的な交流・連携計画のもと進めていく。
- ・小学校と中学校の人的交流を行う。具体的には、小学校から中学校への授業観察を6回程度行う。また、中学校からの乗り入れ指導を6月、9月、11月、2月に行う。
- ・児童生徒連絡協議会を5月、9月に行い、代表委員と生徒会で生活習慣について話し合いを実施し、よりよい学校生活を送るための企画推進を行う。

(小中連携キャラクター)



開かれた学校づくりのために

- ・確かな学力の向上や家庭・地域との連携・協力の一層の充実の観点から、学校週5日制の趣旨を踏まえ、土曜日における学校公開を月1回実施する。また、地域の教材化、幅広いゲストティーチャーの活用、セーフティ教室や道徳授業地区公開講座等の実施、学校評議員会などを通して、保護者、地域の理解と協力を得ながら、地域に開かれた学校づくりを進める。

児童数

(10月16日現在)(卒業生数 14081名)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男	33	33	29	32	21	25	181
女	32	30	29	32	22	25	157
合計	65	63	58	64	43	50	343
学級数	2	2	2	2	2	2	12